



## 緊急提言！ 信陽舎存続のため 舎友の力結集を！

### 【舎友の皆様へのお願い！ ～ 信陽舎の認知度を高めるために ～】

**評判 (口コミ) こそ力なり** 信陽舎の本当の良さというのは、そこでの生活を経験したことのある人 (舎友の皆様) でないと語れないし、伝えられません！ 信州の人々から、「子や孫が進学で上京するならば是非信陽舎に入りたい」「信陽舎での貴重な経験は、その後の人生で大きな財産となる」と言われるような 評判 (信頼と知名度) を獲得したいと考えています。“評判”にはお金には代えられない力があります。 **そこでお願いです！** 舎友の皆様一人一人が、ご家族・親族の集い、近所付き合い、自治会、同級会・同期会、仕事仲間、趣味仲間など、様々な日常のお付き合いの場において、信陽舎の良さ (教育的価値) や独自アピールポイントを宣伝していただき、信陽舎の認知度を高めるために、一役買っていただきたく切にお願い致します。

### 【信陽舎の存在価値 ～ 独自色 (アピールポイント) ～】

**経済的で快適な居住環境** 信陽舎は、平日2食付 43,000円 (月額) という都会では得難い経済的価格で清潔な居住環境を提供することによって、保護者の経済的な負担軽減に寄与するとともに、寮生たちには快適な寮生活を満喫していただいています。

**寮生の健康と安全対策を重視** 新型コロナ、ノロウイルス等様々な感染症や地震災害等から寮生の健康と安全を守るため、感染予防の専門家による衛生指導や感染予防マスク、消毒液、検温器等の常備、年6回の防災避難訓練の実施、防災ヘルメット、災害用品等の備蓄など、信陽舎は保護者の皆様が安心できるよう寮生の健康と安全のための対策を最重視した運営を行っております。

**多様な交流のモデルケース** 信陽舎は、武蔵野市の高齢者福祉施設「桜堤ケアハウス」と合築した全国でも珍しい学生寮で、4階建ての建物は「春秋館」と名付けられ、学生 (寮生) と高齢者の交流が行われ注目されています。さらに 2020年度末からは、「春秋館」2階の一部を使用して、武蔵野市の障害児を対象とした放課後デイサービス事業もスタートする予定です。

少子高齢化と多様性が急速に進むと予測されるこれからの社会においては、高齢者と若者、弱者と健常者など多様な共生・共助が重要課題となってきます。すでに国会の参議院でも令和の新撰組の障害者議員を受け入れたように、地方自治体や産業界においても社会的責任として、障害者受け入れが急速に進むと思われます。

その意味では、若者同士だけでなく高齢者や障害児とも共生・交流できる信陽舎は、日本で (あるいは世界で) 最初の 未来を先取りした “モデルケース” とも言え、まさに、人格を培う場としての信陽舎の存在価値は大きいと自負しています。

信陽舎の寮生はアパート生活や他の寮では得られない多様な交流が体験できるのです。その多様な交流が刺激となって、幅広い教養と人間関係の在り方を身につけていくのです。その信陽舎での貴重な経験は社会に出てからの人生に必ず大きな財産となるでしょう。

**デジタル化 (AI・ロボット) に負けない能力養成** 急速に進むデジタル化時代、人工知能 (AI) やロボットが人間の仕事に取って代わり、雇用が奪われると言われていています。AI やロボットが得意とする能力とは、知識 (情報) 力、記憶力、計算力といった、いわゆる数値化できる能力で、これらは確かに人間の能力を遥かに超えています。しかし AI やロボットには、人間関係の在り方や相手の心の機微を読み取り柔軟に対応する能力や自分を律するといった数値で表せない能力はありません。

そういうAI やロボットが苦手とする能力、つまり、幅広い教養と豊かな感性、高貴な人格 (人間関係の在り方) を身に付ければ、デジタル化時代にも負けず、人びとから信頼される存在になれるわけです。その能力を身に付ける場が、まさに、信陽舎なわけです。



【新入寮生歓迎会】新入寮生を中心に先輩寮生・理事・ケアハウス高齢者等との親密な交流

## 第6回舎友会総会中止に関するお知らせ

令和2年9月12日開催予定の第6回総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えないために 中止としました。次回開催時期につきましては、収束の目途が立ち次第、改めてお知らせする予定です。ワクチンや抗ウイルスの特効薬が出るまでは、手探りの暮らしとなりますが、次回総会でお会いできる日まで皆様くれぐれもご自愛くださるようお願い致します。

## 【 県人寮の危機 ～ その現状と将来 ～ 】

### 県人寮の現状

昨年(2019年)8月に開催され、全国約40の県人寮が参加した「全国学生寮協議会」における各寮の近況報告並びに同年9月17日に開催された「信州学生寮協議会」(信濃学寮、信濃寮、長善館、千曲寮、信陽舎の5寮)での近況報告において、以下のような厳しい共通の課題が浮かび上がってきました。

**【寮生募集】** ほぼ全ての寮が定員割れの状態で、それを解消するために、地元で保護者会を開いて入寮説明会を行ったり、県外の出身者にも門戸を開いたり、大学院生だけでなく留学生も入寮可能にしたりと様々な取り組みを試みているが、空室が埋まらず、欠員が多いというのが共通の課題だった。

**【資金問題】** 経営難に陥った寮も多く、元寮生(OB)に寄付を求めたり、賛助会員を募って寄付金を頂いたり、県に補助金の申請を試みたりと努力しているが建替費用が集まらない。なかには、2寮を合併し、片方の土地を売却して建築費を捻出したというところもあった。

**【運営問題】** 運営役員(理事)の高齢化が進むが、若い人材の成り手がなく若返りが進まない。どの寮の役員も一様に、「やむなく理事長や役員を引き受けた」といった消極的な姿勢の寮が多い。住込みの舎監(寮長・館長)は24時間労働のようなもので、成り手(後任)がないため、定年になっても辞められないと人材不足のところが多。また、寮の行事に苦情を言って来る保護者や利己主義な寮生など親子揃っての新人類振りに苦慮している。

最盛期には首都圏に70件強あった全国の県人寮が、この20年の間に定員割れ等による経営難のため閉鎖するなどして今では40件近くに減ってしまったが、残った寮も危機感を募らせているというのが現状です。

### 県人寮の将来

日本社会における少子化と格差拡大による貧困化が想像以上の速さで進行しており、以下のような現象が県人寮の苦境に更なる追い打ちをかけ始めている。

**【少子化現象】** 大学進学者の絶対数の減少が顕著になってきた為、首都圏の大学が学生確保のため自前の大学寮を設けるようになってきた。地方自治体が、若者の都会への流出を食い止めるため地元で公立の大学を設置して学生を吸収するようになってきた。長野県の例では、長野県立大学(長野市)、長野県看護大学(駒ヶ根市)、公立長野大学(上田市)、公立諏訪東京理科大学(茅野市)。

**【格差拡大・貧困化現象】** 経済的事情により、地元又は近県の国公立大学を目指す傾向が顕著になり、首都圏の私立大学を受験するほぼ全ての学生が地元の国公立大も併願し、学費や生活費の高い首都圏の私大を敬遠するようになってきた。工業高、商業高、農業高卒の若者が大学進学をあきらめ、就職するか専門学校で学ぶ傾向になった。若い世帯に占める母子家庭の割合が増えてきた。実家からの仕送りがなく、奨学金とアルバイトで学費、宿泊費、生活費を賄っている学生が増えてきた。

この少子化と貧困化が大学や県人寮に及ぼす厳しい状況(大学進学者数の減少)は、今後急速に強まると思われます。特に、今回の新型コロナウイルス感染拡大が格差拡大・貧困化に拍車をかけるとともに、生活様式や社会構造に根本的な変化をもたらそうとしている。

テレワークやオンライン授業、ネット通販などの普及は首都圏への一極集中といった中央集権的な社会構造や価値観に根本から変化をもたらそうとしている。

そのような状況の中、ただ寮費が安いというだけの県人寮では、存続は難しくなることが予測されるため、信陽舎存続のためには、**確固たる運営理念(教育的価値)**と、他にはない**独自色**を打ち出せるかどうかにかその将来は懸かっていると思います。

## 【 豊かさとは何か？ ～ 寮生活が人生の基礎を築く ～ 】

人間にとって豊かさとは何か？ 経済成長は決して人間を幸福にはしない。経済より大切なものがある。学生寮・信陽舎は、そういうことを学ぶ場であり、人生の基礎を築く場である。

### 増加する“引き籠り”

昨年(2019年)5月28日朝、川崎市登戸駅近くのバス停でスクールバスを待っていた児童たちを次々と包丁で襲った犯人は51歳の男で、同居の80代の伯父夫婦とはメモのやり取りだけで何年も顔を合わせる事がなかった引き籠りだという。

まさに、80代の年金生活者が50代の引き籠りと同居するという、「8050問題」の典型的なケースだった。また、昨年7月18日、死者36人、負傷者34人を出した京都アニメ放火殺人事件の犯人も41歳の引き籠り男だったといえます。

現在、把握でき、公表されている引き籠りだけで、40代～50代で約60万人、20代～30代が約50万人だという。引き籠りという性質上把握が難しいことを考慮すると、実際にはかなりの数字になると思われます。

これらの引き籠りは、他者との交流や付き合いが苦手で**対人関係が築けない**ために世間との接点を断ち、自らの殻(自室)に閉じこもり孤立してしまう人々で、そういう人間が想像以上に増えているというのが現代社会の特徴でもあります。



【バーベキュー】 2階テラスにて寮母さん・理事さんらとバーベキューを楽しむ寮生たち



【スポーツ大会】 フットサルで汗を流す

# 緊急提言！ 信陽舎存続のため 舎友の力結集を！

## 数値化できない能力

経済優先の新自由主義的競争社会の中で、人々が競って 物質的な豊かさ（経済成長）を追い求めた結果、環境汚染や気候危機など自然破壊のみならず、核家族・少子化、非正規雇用・格差拡大・貧困化、さらには引き籠りやシングルマザーの増加といった社会崩壊、家庭崩壊をもたらすとともに、学校教育にも機能不全をもたらしたのです。

すなわち、教育の現場も経済優先の流れに呑み込まれ、記憶力や暗記力など数値化できる能力（林史典舎友会会長、筑波大名譽教授の主唱する言葉）で人を評価するという**偏差値教育の悪弊**に陥ってしまった。子どもたちは、進学受験戦争、就職戦争、出世競争等々と、幼児の時から競争というレールの上を走り続けることを強いられる。休息していたら落ちこぼれてしまうようなストレスの溜る競争社会では、**人間関係を築くための基となる能力**を身に付ける余裕もないままレールからはみ出し、ひとり孤立し、自らの殻に閉じ籠ってしまう人が増えるのも当然のことです。つまり、家庭でも学校においても、偏差値教育に熱中するあまり、“**相手を思いやる**”とか“**自らを律する**”といった**数値化できない能力 = 人格**（林史典舎友会会長の言葉）の育成を放棄してしまった結果、人間関係を築くことも出来ず自らの殻に閉じ籠ってしまう人間や自己責任論をかざす“自分ファースト”人間を増殖させてしまったのです。

## 人間関係の在り方

“人生とは何か”、“人間として世の中を生きる”とはどういうことなのか？ を考える時、いつも頭に浮かぶのは、司馬遼太郎の次の言葉です。『“人”という字をよく見ると、ななめの画が互いに支え合って構成されていていつも感動させられる。人間は決して孤立して生きられるようにはつられていない』。つまり、人間とは、他の人々と互いに関わり合い支え合っただけで生きられない生き物だということです。言い換えれば、人間とは“**関係としての存在**”、人や社会や自然等と関わり合い支え合っただけで存在し得ない生き物だということです。よく、「組織は人なり」と言われますが、“**社会とは支え合う仕組み**”なのです。したがって、社会的人間としての人間を育てるという意味で大事なものは、“**関係の在り方**”を学び、身に付けさせることです。

## 集団・協同生活が人を育てる

“関係の在り方”を学ばせるには、**集団生活・協同生活**が最も有効な手段です。具体例を挙げて見てみましょう。

【郷中宿】 昔、江戸時代後期から明治後半頃まで西日本各地に“若者宿”とか“若衆宿”と呼ばれるものが存在しましたが、特に有名なのが幕末の薩摩藩における「郷中宿」という薩摩藩独自の教育機関ですね。若かりし日の西郷吉之助（隆盛）を郷中頭として、大久保利通、大山巖、西郷従道、東郷平八郎などがそこで育った。

【松下村塾】 また、幕末に長州藩の萩で吉田松陰が営んだ「松下村塾」からは、高杉晋作、久坂玄瑞、伊藤博文、井上馨、品川弥次郎など多くの明治維新の立役者を輩出した。

【適塾】 さらに、同時期の大坂には蘭医の緒方洪庵が運営する「適塾」があり、そこでは30名の若い塾生たちが30畳の部屋で協同生活をしながら蘭学を学んでいた。その中から大村益次郎、橋本左内、福沢諭吉、長与専斎、大鳥圭介、箕作秋坪といった維新後の近代日本の基礎を築くことになる多くの人材が育っていった。

これらに共通しているのは、若者達が**集団生活、協同生活を通して学ぶ**という、まさに**理想的な社会教育システム**だったということです。

## 学生寮の重要性に気づいた大学

東京大学は、『教育の場としての学生寮を～デジタル化時代の大学教育の在り方とは』と題して、寮生活の価値を再評価する記事を東大新聞2020年新年号1面に特集（資料提供：舎友・渡辺陽祐君）して、次のように強調した。

「寮での交流が人生で大事なものになる」、「寮でのコミュニケーションの重要性」を評価し、「寮生活を教育の一環とみなし」、「寮生活の経験を教育の根幹」に据えて、「シェア型の宿舎（寮）の整備」を進めていると。

また、米ハーバード大学では、米Facebook社が同大学の寮のルームメイトによって創業されるなど、寮がイノベーションの場でもあるという点にも注目し、21世紀の居住型リベラルアーツ教育のスタンダードを創ると宣言し、寮の再整備を進めている。

遅まきながらも“**人間関係の在り方 = 数値化できない能力**”を身に付けさせることの重要性、逆に言えば、“**数値化できる（偏差値）能力**”だけではダメだということに大学側も気づき始めたということです。

## 人に信頼され、感謝される生き方が人生を豊かにする

集団生活・協同生活の中で学ぶべきものとは何でしょうか？ それは、信陽舎の食堂に掲げられている加納第2代理事長の筆になる広瀬淡窓の詩の一節『君は川流を汲め、我は薪を拾わん』と、宇佐美第3代理事長が寄宿舎生活を詠んだ一節『友の憂に吾は泣き、吾が喜びに友は舞う』に凝縮されています。同じ釜の飯を食べ、寝起きを共にし、協同で作業するなど、互いに刺激し合い切磋琢磨する中で**自然と人間関係の在り方**を学び身に付けていくのです。

集団生活・協同生活では、自分のことだけ考えていたり、自分の利害や都合を優先したらうまくいきません。互いに支え合い協力し合っただけで生活するわけですから、皆のためにと他者を意識し、皆の利害や都合を考慮して行動しなければならぬため**自然と、『どう行動したら、皆から信頼され感謝されるだろうか？』という人間関係の在り方（=社会性）が学べ、身につけていくわけ**です。他者を思いやるとか、自らを律するといった能力、つまり、**数値化できない能力 = 人格**が培われていくわけ

そのような役割は、昔なら若者宿とか塾、あるいは寄宿舎などが担っていたわけですが、今日では信陽舎のような学生寮こそが、人間関係の在り方を学ぶ場としての役割を担うべきだと考えます。人に信頼され、感謝されてこそ人生は豊かになる。“**人に感謝される喜びに勝る喜びはない！**”

（公益財団法人信陽舎理事会 文責：福興）



【寮祭恒例の五平餅作り】



【防災訓練後の反省会】



【ケアハウスの高齢者と年齢差70歳の懇親】

『ブラボー信陽舎』 ～昭和34年(1959年)頃の寮生活～

《 新館落成式(昭和34年10月25日)頃の日 》

武藤高義(舎友No.16、1956年入寮、元カルピス社長)

朝は早い11時 やっと目覚めて食堂へ 寝巻のまま出てみれば 残り少ないおつゆの身 思ってみれば 軽いのは おつゆのネギの数ばかり だけではないよ わが財布 財布の中が淋しいよ 財布の中にあるものは 質屋の札と乗り越しの切符が数枚あるばかり 金は天下の廻り物 行けばどうにかなろうかと 冷たい飯に汁 かけて 下駄箱までは出てみたが 長いお世話になりました 靴の底には穴だらけ あいつは今日は学校へ 行かないものと一緒に 他人の靴を一寸借り あたふたかけ行く小田急のバス駐車場のその前の 薬局堂の 小娘は セクシーピンクのワンピース そいつが少し気にかかる 満員電車のその中で 僕の隣のつり革に ぶら下がってるお嬢さん 時々僕に流し目を寄すが 大変嬉しくて 胸はドキドキ目はかすむ ポーとなって 乗ったら 二つも駅を乗り越した あわてて降りるその時に よくよく見たらお嬢さん 左のお目々が藪(やぶ)にらみ 学校の授業は長くて 苦しきことのみ多かりき タヤみ迫るたそがれの 頃にもなれば ベコベコのお腹が自分のものだと 思えぬほどのグロッキー 他人の靴が小さくて まめを潰して寮 近く 上水住宅公団の若い夫婦の家あたり 愛の灯影がうらめしい 今夜の夕飯トンカツで 月に一度のデラックス だけど悲しや悲しきや 豚肉いずこ 肉いずこ 紙の様に薄いとて それが名物 カミカツだ! 郵便差しを見てみれば あ〜嬉しや 手に重い 分厚い手紙がありました きつと可愛いあの 娘から 胸はずんで血は躍る いそいそと 後ろを見てみれば 月謝滞納督促状 勉強をしょか 酒飲もか 勉強をあまりやりすぎて 身体を壊すんじゃない と言ったおふくろを思い出す お神酒あがらぬ神はない 酒は百薬の長だと すらこら出掛ける川の向うの一杯屋 その看板娘さん その名も嬉しジョルソミナ ジョルソミナのお手酌で 女性を論じ世を語り 足はふらふら千鳥足 二点を結ぶ最短距離は 直線なのだと 数学定理を応用し 無理に渡った丸木橋 ほろ酔い機嫌が災いし どぼんと落ちる 川の中 これぞ万有引力の法則なりと苦笑い 万年床に潜り込み 思いは遙か 彼の君の 可愛いえくぼが目に浮かぶ 女性と言えは昨年の 皇太子妃の決定のその日の夜の事でした 隣の奴が汗臭い 布団をかぶって出てこない 「おい どうしたか」と聞いてみりや 「聞いてくれるな、ほっとけ」と 涙を浮かべ答ええない 「おい どうしたか」と尚問えば 「あ〜 吾輩は もう生きる望みを 既に失った 理想の女性を皇太子殿下様にとられた」と 真顔で答えた奴も居た ああや ころや と思いつつ うとうとするが午前二時 その時 トビウをたたく音 「おいおい起きろ おい起きろ」 寝ぼけ眼(まなこ) で出てみれば 「いつもの猫だ あの猫だ だろぼう猫が食堂に 居るから退治に来てくれろ」 あたふた急いで食堂へ 来てみりや 寮生四・五人が 猫を囲んで思案顔 剣道二段の若武者が 大上段にふりかざし 「えいや」と おろす 猫の上 南無阿弥陀仏 南無弥 陀ダー 南京袋につめこんで 玉川上水 どんぶりこ かくて今日も終わりけり 明日また かくてありぬべし 白川夜舟のわが友の うるさい寝言を横に 聞き 再びもぐる万年床 ああ 武蔵野の夜は更ける



当時の武蔵境寮旧館



寮祭ダンスパーティー

(原稿提供: 宮川章義(舎友No.14) 第9代理事長)



桜堤団地ママさんチームとバレー対抗戦



寮祭での余興と寮歌斉唱



小金井公園で女学生とフォークダンス

✉ 舎友便り ✉

《 総会案内の出欠返信ハガキの通信欄、メール等より 》

- 高柳 俊男 (S2): 空室が目立つとのことで残念です。9月12日の総会には出席させていただきますが、もしコロナの行方によって中止又は延期になった際は、メールでもご連絡下されれば幸いです。
- 榊原 雅直 (S3): 総会に出席させていただきます。宜しくお願い致します。
- 後藤 寿明 (4): いつもご案内頂きご苦労様です。
- 平澤 正通 (11): 舎友会中止は残念ですが現状を考えるとやむを得ないことと思います。いつになれば物事がうまくいくようになるのか全く分かりませんが、辛抱して待ちましょう。会報「武蔵野」素晴らしい出来だと思えます。有難うございます。
- 宮川 章義 (14): 徐々に会報にて信陽舎の情報に接し嬉しく思います。総会で皆様にお会いできるのを楽しみにしています。今年3月末日に現役引退し、のんびり過ごしています。
- 武藤 高義 (16): 6月16日、奥様より電話があり、武藤さんは昨年6月に病に倒れ病院に入院したまま一年になりますが、家にも帰れない状態が続いていて、正常な状態に戻ることは難しいので舎友会は退会させていただきます。元気な頃はいつも信陽舎のことを嬉しそうに話しており、大変お世話になりました。舎友会の皆様に宜しくお伝え下さい、とのお話でした。(福興記)
- 松島 稔 (24): 会報第6号4頁の羽生寮母さんの近況に関する記事を拝読しました。ここ2年程、小生の賀状に対するご返事をいただいておりますので心配しておりましたが、近況が分り少し安心致しました。
- 椎名 冷一 (34): ご盛会をお祈りいたします。難聴を患い、目も悪く、会合等の出席を控えております。不整脈の治療を受けながら一人の生活を続けています。私も傘寿を迎えました。一人で生きることの大変さを身に沁みており、子ども達や近所の皆様に助けられております。

《 総会案内の出欠返信ハガキの通信欄、メール等より 》

- 高間 成之(38): 読み応えのある舎友会報を有難うございました。羽生玄子寮母さんの寮生をすぐ思い出す記憶力の素晴らしさと慈愛ある言葉の数々は昔を思い出しながら懐かしく読ませていただきました。感謝!
- 筒井 敏博(42): 私は浪人のとき半年間、信陽舎にお世話になりました。その後早大理工学部を卒業してエンジニアでしたが、30歳の時、キリストの救いを受け、牧師になりました。しかし、80歳を迎え、牧師も引退します。住所も不定となりますので、会報はもうお送り下さらないようお願い致します。
- 古島 史雄(47): 夫婦ともども歳相応に不具合を抱え COVID 19 には感染出来ない状況で巣籠中ですが、退屈する暇のない田舎暮らしもどきができているのが幸いです。世情、無症状でウイルスを増やしまき散らす感染者が増加しているとのこと、くれぐれもご注意ください。
- 久保田光昭(58): 多病につき病院行き以外はステイホームを強制されています。
- 代田 宏樹(62): いつも大変お世話になり感謝申し上げます。
- 浜 国昭(65): 長野から上京して節目の60年。1年後の80歳を前に、人生の最後を如何としようかと思索諸々です。せっかく総会のご案内を頂きましたが、不良OBで申し訳ありませんが欠席します。会のご盛會を祈念しています。
- 小池 章(76): 舎友会の準備ご苦勞様です。私は、毎朝、松本城を一周する散歩を日課としております。
- 嶋岡 洋平(78): 会の運営にいつもご苦勞様です。盛會をお祈りいたします。
- 北原 靖久(81): 総会にはコロナの状況により参加を考えたく存じます。
- 下平 肇(87): 元気になっています。総會を楽しみにしております。
- 中田 篤(96): ご盛會を祈ります。
- 坂 好章(99): 腰痛により行動に支障がでます。総會、懇親會の盛會を祈念しております。
- 中田 茂(102): 所用のため出席できませんが、盛會を期待しております。皆様に宜しくお伝え下さい。
- 池神 利勝(109): 新型コロナにはほとんど縁がなく総会には参加できそうです。当日は宜しく願います。
- 片桐 勝臣(110): 今年も総會が盛會となることを祈ります。
- 五嶋 昭(112): 幹事様、お世話になります。新型コロナの感染拡大(?)状況のため欠席します。私は元気でおります。
- 小平 国俊(113): 何時もご連絡を有難うございます。元気に暮らしております。
- 常盤 昌昭(136): 体調を崩しておりますので申し訳ありませんが欠席させていただきます。盛會を祈ります。
- 竹村 治恭(140): 総會中止の連絡を頂き、了解いたしました。私は9月12日に会社の行事予定があり、コロナの影響を見極めていたので返事が遅れて申し訳ありませんでした。コロナが収束した後、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。
- 原 鍊造(144): 毎回招待して頂きながら出席できなくて申し訳ございません。今回も役員をやらせていただいている自治会の敬老會と重なってしまいました。来年こそは、この役員會もお役御免で信陽舎の舎友會に出席できると思いますが……。ご盛會を祈ります。
- 平沢 忠明(145): 近ければ(総会に)出席したいところです。見事な會報、いつも感服しながら読んでおります。飯田高校同窓會報(11月1日付発行、第84号)の編集作業が7月9日から始まります。広告をまた掲載して頂ければありがたいです。ケアハウス主催の地域祭に応援参加、防災訓練での活躍など寮生活を強調した内容にしては如何でしょうか。
- 伊原江太郎(147): 郷里飯田の知人等に信陽舎入寮生増員のためのお願いをしたいと思います。北・中・南信の各地区で2名づつでも入っていただければと。寮の良さを知って頂ければ、何とか道は拓けるものかと思案しています。
- 仲田 哲夫(155): 総会には都合で出席できませんが、盛會を祈念します。
- 松山 順治(158): 初めてラインいたします。書中お見舞い申し上げます。舎友會総會中止の件は了解しました。本日年会費は払い込みました。新型コロナ禍で、山にも飲みにも行けず巣籠り状態ですが、元気に暮らしています。コロナ禍は長期戦になりそうですが、運動不足になりませぬようお身体をご自愛ください。
- 北原 康夫(165): 會報を楽しみ読ませて頂いています。羽生玄子さんの記事は大変嬉しく思いました。記憶力の良さにはびっくりします。昭和51年、渋谷東邦生命ホールでの私の尺八リサイタルにご夫婦で来ていただき本当に感謝致しました。
- 櫻井 康夫(166): 皆様お元氣のことと存じます。ご盛會をお祈りいたします。
- 古川 善博(169): 會報第6号を有難うございます。本年も総会には残念ながら欠席させていただきます。なお、住所は東京品川区に転居しましたので宜しく願致します。



聖觀世音菩薩 (薬師寺)



弥勒菩薩 (広隆寺)



荻原碌山「抗夫」

《 総会案内の出欠返信ハガキの通信欄、メール等より 》

- 【お名前不詳者】：人生は長いようで短いですね。退職後13年、何事もまず楽しむと仲間9名にてソバ、野菜作りを行っています。これからは体力と相談しながら挑戦していきます。幹事様有難うございます。(お名前無記名で消印は飯田となっております)
- 久保田信行(174)：新型コロナで大変な状況下、信陽舎舎友会の運営、誠に有難うございます。
- 林 高明(182)：昨年父が亡くなり、実家には高齢の母が一人います。幸い母も元気で、毎日夫婦で実家に行き、ピーバーでの草刈り、木々の剪定、自家用野菜作りを楽しんでいます。そんなわけで田舎ではあまりコロナ禍の影響を受けていません。
- 中村 克己(190)：会報第6号の配信有難うございました。2020年会費の払い込みを致しましたのでご確認願います。なお、住居表示が変更になりましたのでお知らせいたします。
- 鳴海 雅治(192)：利根川(羽生市)べりにて、トカイナカ暮らしをしています。皆様、お達者で！！
- 前澤 孝一(193)：残念ですが総会は欠席致します。近くに住まう妻の母が高齢故、この状況下で自分達も出来るだけ行動を自重しているところです。会のご盛會と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。
- 森山 幹夫(196)：昨年飯田での第5回舎友会総会ではお世話になりました。次の飯田での開催を楽しみにしております。
- 今村 行人(200)：ご盛會をお祈りいたします。コロナで大変ですが、皆様お体を大切にしてください。
- 岩原 晃(214)：昨年の第5回舎友会総会に初めて出席させて頂き、50年前の「あの青春時代」に一瞬で戻ることができました。関係者の皆様へ心からの感謝。会報で羽生玄子寮母さんのお元気な様子に接し大変嬉しく感じた次第です、感謝！
- 原 誠(220)：「ぞれの考えや初夏の候」の「ぞれ」とは初夏に必ず現れるあの妖怪のことですよね？
- 中村 泰昭(234)：9月に海外渡航予定あり欠席します。コロナ禍で取りやめの可能性もありますが、その場合でも東京へは行けませんのでご了解下さい。会費は払い込みました。
- 杉本 研一(254)：思い返してみると信陽舎では大学で学ぶ以上の人生勉強をさせて頂きました。60歳過ぎの4年間と信陽舎での4年間を比較すると、まさに信陽舎での経験は密度の濃い青春の煌きだったと懐かしく思い出します。
- 田中 誠一(262)：来年度の寮生募集に関してお手伝いできることがありましたらご連絡ください。
- 山口 益弘(270)：お世話になります。今回の総会は欠席しますが、いつか出席したいと思います。
- 杉本 理(281)：札幌に移住しましたので宜しくお願いします。
- 福澤 淳一(282)：総会は欠席しますが、皆様のご多幸をお祈りいたします。
- 岩原 伸(290)：新型コロナ感染症で学校も対応に大わらわです。こういう時に、脆弱な部分が露呈します。ただ、今は前を向いて一歩あるのみです。総会は欠席させて頂きますが、ご盛會をお祈りいたします。
- 高野 雅彦(302)：大変申し訳ありませんが、新型コロナウイルス感染リスクを避けるために、今回は欠席とさせていただきます。
- 仁科 圭右(306)：いつもご苦勞様です。第6回総会の盛會をご祈念申し上げます。
- 大平 正章(323)：コロナ感染症予防が確立することを切望しています。
- 木下 雅仁(340)：コロナに負けずに頑張りましょう！
- 安藤 道彦(366)：いつも感謝しております。
- 丸山 哲也(372)：現在(本人は)タイに滞在しております(父親より)。
- 佐々木優一(572)：大変お世話になっております。今回都合が合わず欠席させて頂きます。誠に申し訳ありませんが宜しくお願いします。また、住所が変わりました(同じ札幌市内)ので宜しくお願い申し上げます。何かございましたらお声掛け下さい。
- 岩原 優(580)：寮を出て5年経ちましたが、未だに連絡を取り合う友好関係を築いたことを嬉しく思います。
- 松澤 直紀(596)：ご無沙汰しております。寮を出てからなかなかご連絡をさせていただく機会もなく失礼いたしました。まだまだ社会人生に慣れておりませんが、何とか続いております。直接業績に響く業種ではないものの、私の所属する法人も3月から在宅勤務が継続しており、コロナの影響の強さは感じております。今年は舎友会の年会費の支払いも確実に行わせていただきますので、宜しくお願い致します。
- 森田 圭洋(598)：卒寮と同時に入社したIT屋に勤務しています。親しくしていた寮友が都内や神奈川県内に居住しており、時々顔を合わせています。
- 大石 晃也(608)：ご無沙汰しております。東京はまだまだコロナ禍が続くようで心配ですね。寮生の皆さん、貴重な4年間なのにこんな形になってしまい可哀想です。でも皆さん元氣だとお聞きし安心しました。私の方は仕事が忙しく大変ですが充実しています。落ち着いたら寮へ遊びに行きたいです。長谷川寮母さんに宜しくお伝え下さい。



円盤投げ



阿修羅像(興福寺)

ご冥福を！

武蔵境寮以降の物故者57名の  
ご冥福を心からお祈り致します！

❁ 牛山喜文(舎友番号 185、1969年入寮)さん 令和2年3月30日ご逝去  
昨年より肺がんのため闘病生活を送られていたが、3月30日にご逝去されました。  
同期入寮の前澤孝一(舎友番号193)さんより、「新型コロナウイルス感染拡大の  
状況下、お見舞いも叶わなかった」とのご報告をいただいた。

## 新型コロナに負けず寮生活を満喫する素敵な新入寮生



中村翼君(左) 市澤文太君(右)

少子化、格差拡大等によって首都圏の大学に進学する学生数が年々減少してきた影響を受け、新年度の新入寮生は下記の2名となった。

- \* 中村 翼君 (東洋大学文学部教育学科)
- \* 市澤 文太君 (順天堂大学保健医療学部理学療法学科)

両君が入寮するやいなや、新型コロナ感染拡大により緊急事態宣言が(4月7日)発動され、外出自粛要請が出された。大学の入学式は中止、キャンパスへの立ち入りも叶わなくなった。また、寮の新入寮生オリエンテーションも歓迎会も中止という不運に見舞われてしまった。

そんなコロナ禍の不運にもめげず、この両君は、前向きに明るく寮生活を満喫している。中村君は教師として、また市澤君は理学療法士として、「社会の役に立ちたい」という将来への確固たる志=人生観を胸に秘めているからこそ迷いがなくゆとりを持って寮の協同生活を満喫しているようだ。寮の自治活動においても、与えられた職務(係や当番)を積極的にこなすだけでなく、寮母さんの買物や先輩からの頼まれ事なども進んで引き受ける姿には初々しさとともに、人間的な魅力と将来性を強く感じる。両君とも素直で素朴で明るく、互いに相手を思いやる優しさを身につけた 稀に見る仲の良い若者であり、今後4年間の寮生活でお手本となるような中心的役割を担ってくれることを大いに期待したい。(福與記)

## 万全のコロナ感染対策の下で開かれた桜堤ケアハウス主催「夏の夕食会」

7月29日午後5時20分、出席理事(伊原副理事長と福與)寮生(坂口寮長、権田敬太郎、市澤文太)の5名とケアハウス居住者がケアハウス玄関に集合。職員の指示に従い一人づつ順番に検温、洗面所にて手洗いとうがい、会場の食堂入口にてアルコール消毒と、コロナ感染予防対策には万全を期していた。会場も、一つのテーブルにお年寄りと寮生と理事を混在させるというこれまでのような配置は止めて、お年寄りのテーブルと理事・寮生のテーブルは別れて配置。各テーブルも真ん中をアクリル板で仕切るなど感染対策の工夫が見られた。また、料理も一人一人個別に配膳されており、飲み物は互いに注ぎ合うのは禁止、ゴム手袋を着用した寮生と職員が注いで回るといった徹底ぶりであった。

午後5時30分、会は松井生活指導員の司会進行でスタート、最初に指名された福與が挨拶を行い、入居者代表の乾杯挨拶のあと楽しい夕食会となった。今回はコロナ禍のため異例づくしだったが、メインイベントとしてはビデオ上映があった。ケアハウス入居者の皆さんの出身地や子どもの頃の夏の思い出などを仮想映像で紹介、また参加寮生の故郷の祭りの映像なども紹介した後、最後に池野理事のご尽力により拝借した信州の観光DVDビデオが紹介された。

途中、伊原副理事長が今年満100歳となられた御母堂の写真と元気な様子を紹介すると、入居者の皆さんから驚きの声があがった。

食事の最後に、信州の旬の果物として池野理事に送っていただいた桃がデザートで出された。職員の方々からも「私たちまで頂戴し、とても美味しかった」とお礼の言葉を頂戴した。池野理事のご尽力には心から感謝いたします。

また、会の中で、外山生活指導員から、「4月に、お年寄りを励ます寄せ書きの色紙を寮生さん達から頂き、お年寄りの皆さんとも喜んでいました。もし差支えなければ、このコロナ禍で精神的に不安な気持ちになられているお年寄りを勇気づけるために、もう一度寄せ書きの色紙を書いていただけませんか」と頼まれ、坂口寮長は気持ちよく引き受けていた。

お開きになった後、武蔵野市からケアハウスの運営を委託されている社会福祉法人武蔵野の介護支援専門員の古路木智さんが理学療法士を目指している市澤文太君に名刺を渡し、「理学療法士の勉強になると思うので武蔵野市の介護活動に参加してみたらどうか」と誘ってくれたようで、市澤君はとても喜んでいました。(運営記録より)



万全のコロナ感染対策して開かれた夕食会

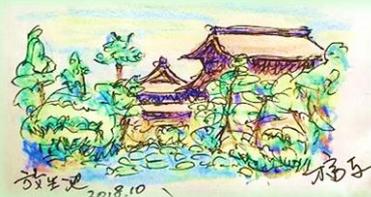
## 【信州の明珠財宝⑤】 国宝・善光寺本堂 (長野市元前町)



仁王門



本堂(国宝)



法生池より山門・本堂を望む

天台宗の「大勧進」と浄土宗の「大本願」によって護持・運営(無宗派)されている。本尊は日本最古の一光三尊阿弥陀如来(絶対秘仏)。本尊の一光三尊阿弥陀如来は、602年(推古天皇10年)に信濃の麻績の里(現飯田市座光寺)の住人・本多善光が大坂・難波の堀江で見つけて持ち帰り、座光寺(元善光寺)に祀った。642年、勅命により長野の地に移された。本堂は国宝で檜皮葺屋根を持つ東日本最大の木造建築。

### 年会費徴収報告

平成31年(令和元年)度年会費徴収は第5回総会開催案内状に郵便振替用紙を同封し、367名の舎友に納入依頼した結果、152名からの納入があった。

令和2年度に入ってから新たに1名の納入があり最終的には153名となった。

納入依頼数	366名
納入数	153名
達成率	42%

### 会報「武蔵野」第5号発行報告

発行日：令和元年9月1日	
総印刷部数	500部
印刷費用	71,928円
配布部数	460部

### 会報「武蔵野」第6号発行報告

発行日：令和2年4月1日	
総印刷部数	500部
印刷費用	73,260円
配布部数	465部

### 会報「武蔵野」第7号・第8号発行予定

第7号発行予定：令和2年9月1日 発行予定部数：500部	
第8号発行予定：令和3年4月1日 発行予定部数：500部	

### 平成31(2019)年度 信陽舎舎友会 決算報告

収支	項目	摘要	金額
収入の部	繰越金	前期(平成29年度)より繰越金	165,651
	年会費	郵便振替 147件(内30年度分2件)	220,500
	”	現金 7件	10,500
	第5回総会参加費	当日現金 57名x7,000円	399,000
	寄付	上松進様ご遺族、福島芳彦様他	58,250
合計			<b>853,901</b>

支出の部	項目	摘要	金額	
支出の部	会報「武蔵野」制作費	第4号、5号印刷代 各450部	143,856	
	総会開催費用	9月7日、飯田シルクホテル	427,440	
	事務費	コピー用紙、プリントインク代等	21,855	
	通信費	案内状・返信ハガキ、会報郵送料	83,749	
	手数料	郵便振替・印字、振込等手数料	27,328	
	小計			<b>704,228</b>
	繰越金	次期へ繰り越し	149,673	
合計			<b>853,901</b>	

繰越金内訳	郵便振替口座	142,708
	現金	6,965

### 平成31年(2019)年度信陽舎舎友会 会計監査報告書

信陽舎舎友会 殿

平成31年度信陽舎舎友会における事業報告、決算収支報告書、郵貯振替口座、現金出納帳並びに付属明細書、領収書等を監査した結果、適正に処理・記載されていることを認めます。

令和2年(2020年)6月13日

信陽舎舎友会 監事

片桐 勝臣 (印)

信陽舎舎友会 監事

原 誠 (印)

### 📞 事務局からのお願い 📞

**2020年度年会費 2,000円 の納入にご協力をお願い致します！**

今年(2020年)度の年会費(2,000円)の納入にご協力をお願いします。新型コロナウイルス感染拡大の影響で大変厳しい状況ではありますが、信陽舎の運営を力強く後方支援していくために宜しくご支援の程お願い申し上げます。

### 📞 お便り大歓迎！ 📞

常時、舎友の皆さんの便りを募集しております。随時受付を行っていますので遠慮なく下記事務局までどしどしお便りをお寄せ下さい。

### 《 会報「武蔵野」編集委員 》

福田 璋夫(116)	福與 卓臣(117)
深澤 勝吉(135)	五島 久揮(176)
原 誠(220)	仁科 圭右(306)
田中 淳一(470)	岩原 優(580)

### 📞 舎友名簿に関するお願い 📞

舎友会では、個人情報保護の観点から「舎友名簿」の発行は行っていません。同期会又は各地区舎友会等を企画される折に、該当する舎友の連絡先を必要とされる場合は、お手数ですが下記事務局までお問合せ下さい。

文中挿入の挿絵(版画・スケッチ)等の作画は福與卓臣

発行人：福田璋夫(舎友会幹事長)  
事務局：福與卓臣(舎友会事務局長)  
〒225-0026 横浜市青葉区もみの木台 34-8  
☎(045)902-2575 携帯☎090-9841-6349  
E-mail : tof2943@citrus.ocn.ne.jp

会報「武蔵野」第7号 令和2年9月1日発行